

単元名 Unit 2 Haiku in English

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 現在完了形の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解を基に、相手の伝えたいことを理解したり、自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 簡単な語句や文を用いて、自分のことを伝えたり、相手のことを知るために尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、教科書本文の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) 現在完了形を用いて、積極的に自分の現在までに完了した動作や現在まで続けていることなどについて話したり、尋ねたりしようとする。また、日本の伝統文化である俳句や海外の俳句について書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

標準的な展開例

12250103_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 現在完了形（完了用法）について学習する。</p> <p>★すでにし終えていることや、まだしていないことを表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit2の表紙の絵について質疑応答をする。 ○Previewを聞き、分かったことをペアで伝え合う。 ○コラムを読む。 ○現在完了形（完了用法）の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practiceに取り組む。 ○モデル文を使って、ペアで質疑応答をする。 ○自分が今終えていることや終えていないことを書く。 ○ペアで発表し合う。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>2 Scene2 現在完了形（継続用法）について学習する。</p> <p>★現在完了形を使って、これまでずっと続いている状態について英語で表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在完了形（継続用法）の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practiceに取り組む。 ○モデル文を使って、質疑応答をする。 ○ずっとほしいものやしたいことを書く。 ○ペアで発表し合う。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>3 Mini Activity 現在完了形の疑問文と答え方について学習する。</p> <p>★現在完了形の完了用法や継続用法を使って、今の状況や続いている状態について相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Mini Activityに取り組む。 ○聞き取り問題に取り組む。 ○モデル文を使って、ペアで対話活動を行う。 ○インタビューをして、相手がどの人物になっているかを当てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後学習する内容について関心をもたせる。 ・ペアで伝え合うことで内容を理解し、現在完了形の用法に気付かせる。 ・日本語のまま英語になった日本文化を確認する。 ・視覚教材を用いて、時間の流れと動作の終了を提示し、完了用法の導入をする。 ・完了用法でよく使われるjust, already, yetを確認する。 ・基本表現の定着を図る。 <p>【評】 現在完了形を用いて、互いに自分のことを伝え合う活動や相手に質問したり、答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。 ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚教材を用いて、時間の流れと動作の継続している場面を提示し、継続用法の導入をする。 ・継続用法でよく使われるfor, since, how longを確認する。 ・基本表現の定着を図る。 <p>【評】 現在完了形を用いて、互いに自分のことを伝え合う活動や相手に質問したり、答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。 ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の用法を事前に復習した後に活動をさせる。

- 質問を変え、質疑応答をする。
- ペアの答えをまとめる。
- ペアの情報を発表する。

- 振り返り活動を行う。

4 Read and Think1(1) 現在完了進行形について学習する

- ★現在完了進行形を使って、これまでずっと続けている動作について英語で表現しよう。
- 現在完了進行形の形・意味・用法を知る。

- 基本表現の学習をする。

- Practiceに取り組む。
- モデル文を使って、現在完了進行形の文を作る。
- 「～時からずっと英語を勉強しています」という文を英語で書く。

5 Read and Think1(2) 俳句を英語で紹介した文を読んでその内容を読み取る。

- ★日本人が俳句を書き始めた起源や俳句の書き方を読み取ろう。
- 本文の学習をする。
- オーラルイントロダクションを行う。

- 新出語句を確認する。

- 音読練習をする。

- Roundに取り組む。

- コラムを読む。

6 Read and Think2(1) 英語の俳句について書かれた記事を読んで、その内容を読み取る。

- ★英語で俳句を書く方法を読み取ろう。
- 本文の学習をする。
- オーラルイントロダクションを行う。

- 新出語句を確認する。

- 音読練習をする。

- Round / Point of Viewに取り組む。

7 Read and Think2(2) 英語の俳句について書かれた記事を読んで、実際に英語で俳句を書く。

- ★英語で俳句を書こう。
- 本文の内容を復習する。
- 俳句を英語で書く。

- ペアやグループで発表する。

- 感想を伝え合う。

【評】現在完了形を用いて、今の状況や続いている状態について相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。

【評】振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・時間の経過と動作を表す2つの場面を視覚教材で見せることで意味と文の構成に気付かせる。
- ・継続用法との違いを考えさせることで、学習事項を定着させる。

- ・基本表現の定着を図る。
- ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

【評】現在完了形を用いて、互いに自分のことを伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。
- ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
- ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。
- ・ペアで確認し合うことで、気付きを促す。
- ・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文やRoundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文やRoundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・英語の歌詞の特徴を確認する。

- ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。
- ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
- ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。
- ・ペアで確認し合うことで、気付きを促す。
- ・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Round, Point of Viewでの活動を通じて「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Round, Point of Viewでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・英語で俳句を書く方法を確認する。
- ・事前に教師が作成した俳句を紹介することで書くことへの関心を高める。
- ・簡単な単語や表現を使うことで、聞き手が理解しやすい俳句を作成することを確認する。
- ・英語で感想を書かせることで表現する力を高めさせる。

【評】俳句を書く活動を通じて「知識・技能」を評価する。

【評】俳句を書く活動を通じて、「思考・判断

<p>○振り返り活動を行う。</p> <p>8 Unit Activity お互いの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、尋ね合って答えたり，伝えたりする。 ★クラスメイトの意外な！？○○歴を知ろう。 ○STEP1に取り組む。</p> <p>○STEP2に取り組む。</p> <p>○STEP3に取り組む。 ○友達の○○歴を書く。</p> <p>○書いた文を発表する。</p> <p>○単元テストに取り組む。 ○Unitの目標を振り返り，できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<p>・表現」を評価する。 ・ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。 【評】振り返り活動への取組を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・例として教師が自分のことを紹介することで生徒に活動への関心をもたせる。 ・ペアで伝え合うことで，表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。 【評】尋ね合ったり答えたりする活動を通じて「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・書いた文をペアで確認し合うことで，学習事項への理解を深める。 【評】書く活動を通じて，「知識・技能」を評価する。 ・全員参加になるように，発表された文について別の生徒にコメントをさせる。</p> <p>【評】単元テストを通して，現在完了形（完了用法・継続用法）と現在完了進行形の用法についての「知識・技能」を評価する。 【評】単元テストを通して，現在完了形（完了用法・継続用法）と現在完了進行形を活用させ，「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。